



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15

バージョン: 16.0

次のバージョンを置き換えます: 15.0

言語: ja-JP

印刷日: 2023/1/2

頁: 1 of 8

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名: GROHE BLUE XTRA-CLEAN

推奨用途及び使用上の制限

一般的な用途: 洗剤 次亜塩素酸から放出される活性塩素を基にした

製品安全データシートの供給者情報

会社名: Grohe AG
街路名/郵便私書箱: Industriepark Edelburg
郵便番号、市: DE-58675 Hemer
www: www.grohe.com
電子メール: info@grohe.com
電話番号: +49 (0)2372 93-0
FAX 番号: +49 (0)2372 93-1322
情報提供担当部署: 電話番号: +49 (0)2372 93-2037
sustainability@grohe.com

追加情報: 本社:
Grohe AG
Feldmühleplatz 15
40545 Düsseldorf
電話: +49 (0)211 9130 3000

緊急時の連絡先

GIZ-Nord, Göttingen, ドイツ、
電話番号: +49 551-19240

2. 危険有害性の要約

物質又は混合物の分類

GHS 分類

エアゾール 3; H229 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

ラベル要素

注意喚起語: 警告

危険有害性情報: H229 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。

安全上の注意事項: P102 子供の手の届かないところに置くこと。

P210 熱・高温のもの・火花・裸火及び他の着火源から遠けること。禁煙。

P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

P410+P412 日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。

特殊ラベル

ラベル表示内容: 含有物 次亜塩素酸から放出される活性塩素: min. 0.07 g/kg。
殺生物剤は、安全に用いること。使用前には常に、表示や製品情報を読むこと。
目に向けて直接、噴霧しないこと。

重要な危険有害性

漏れた/こぼれた製品によるスリッパの危険。



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15

バージョン: 16.0

次のバージョンを置き換えます: 15.0

言語: ja-JP

印刷日: 2023/1/2

頁: 2 の 8

3. 組成及び成分情報

混合物

化学名又は一般名: 水分の多い溶液 次亜塩素酸から放出される活性塩素を基にした

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気を入れること。呼吸困難の場合は、医師の処置が必要である。

皮膚に付着した場合: より長い曝露の場合: 触れた部分は、水で洗い流すこと。汚染された衣服を取り替えること。その後、皮膚にクリームを塗ること。皮膚に刺激がある場合は、医者にかかること。

目に入った場合: 直ちに、まぶたを指でよく開いて、流水で10~15分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。苦痛が生じたり持続する場合は、眼科医にかかること。

飲み込んだ場合: 直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。吐かせてはならない。医師の診断/手当てを受けること。

最も重要な兆候及び症状、予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤: この製品は燃えないので、消火剤は、周囲の状況に合わせて選ぶべきである。すべての消火剤は適している。

使ってはならない消火剤: 棒状注水

火災時の特有な危険有害性

高压容器: 熱すると破裂のおそれ。
周辺での火災により、危険な蒸気が発生する可能性がある。
火災時に放出される物質: 塩素化合物、一酸化炭素と二酸化炭素。

消火を行う者の保護

消火を行う者の保護: 自給式呼吸器具を着用すること。適切な保護具を着用すること。

その他: 加熱すると、圧力上昇し破裂する危険がある。
危険にさらされた容器は霧状の水で冷却し、可能ならば危険区域から移動させること。
蒸気は、水を霧状に噴射して沈降させること。燃焼ガスを吸い込んではいけません。
消火廃水の、地表水または地下水への流入を防ぐこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

目との接触を避けること。化学物質を取り扱う際の一般的な予防措置に従うこと。

環境に対する注意事項

多い量: 地下/土壌に至らせてはならない。



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15

バージョン: 16.0

次のバージョンを置き換えます: 15.0

言語: ja-JP

印刷日: 2023/1/2

頁: 3 の 8

封じ込め及び浄化方法・機材

液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて機械的に取り除き、適切な容器に入れて処分すること。すぐごと。

追加情報: 漏れた/こぼれた製品によるスリップの危険。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項

安全取扱い注意事項: 製品は、加熱しないこと。加熱すると、圧力上昇し破裂する危険がある。
保管場所と作業場所を十分に換気すること。
化学物質を取り扱う際の一般的な予防措置に従うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
目に向けて直接、噴霧しないこと。作業場に洗眼ビンまたは洗眼器を配備すること。

火災および爆発防止に関する注意事項:

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざかること。禁煙。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。通常の防災対策。

保管

保管場所と容器の必要条件: 容器を密閉し、2℃から30℃までの温度で保管すること。
日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。
霜から守ること。
適した材料: プラスティック。
耐腐食性内張りを有する、耐腐食性/容器内で保管すること。

共同貯蔵に関する注意事項: 酸と一緒に貯蔵してはならない。食料品、飲料品および飼料から遠ざけておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

作業部屋を十分に換気すること、かつ/または作業場所に吸引装置を備えること。
『7. 取扱い及び保管上の注意』も参照すること。

個人用保護具

保護具

呼吸器の保護具: 十分に換気をすること。
職場の限界値（WEL）を上回る場合は、呼吸保護具を着用しなければならない。
呼吸保護用フィルターの種類は、その製品を取り扱う際に発生する有害物質（ガス/蒸気/エアロゾル/粒子）の最大濃度に、必ず適応しなければならない。もし、濃度を超える場合は、分離器具を用いなければならない!

手の保護具: 保護手袋は、必要としない。

目の保護具: 必要ない。
多量に取り扱う場合:
JIS T 8147:2003に準ずるサイドシールド付き安全眼鏡。

皮膚及び身体の保護具: 望ましい: 適切な保護衣を着用すること。



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15
バージョン: 16.0
次のバージョンを置き換えます: 15.0
言語: ja-JP
印刷日: 2023/1/2

頁: 4 の 8

衛生対策: 熱・高温のもの・火花・裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
目との接触を避けること。目に向けて直接、噴霧しないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
蒸気/エアゾルを吸入しないこと。
休憩の前又は作業終了後には手を洗うこと。作業時には、飲食、喫煙をしてはならない。
作業場に洗眼ビンまたは洗眼器を配備すること。

環境ばく露管理

6. 項目“環境に対する注意事項”を参照

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的特性に関する情報

外観:	20 °C かつ 101,3 k P a における凝集状態: 液体の 形状: エアゾール 色: 無色
臭い: 臭気閾値:	弱い のあとで 塩素 データなし
pH:	25 °C で: 5.5 - 8.5
融点/融解範囲:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	約 100 °C (1013 Pa)
引火点/引火範囲:	データなし
気化速度:	データなし
引火性:	しない 可燃性の
爆発限界:	LEL (爆発範囲の下限): 非該当 UEL (爆発範囲の上限): 非該当
蒸気圧:	3.05 - 3.15 Pa
蒸気密度:	データなし
密度:	20 °C で: 1 g/mL
水溶解度:	完全に混合できる
N-オクタノール/水の分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
熱分解:	データなし
:	非該当
粘度、力学 (動力学) 上の:	0.001 Pa*s
爆発特性:	爆発しない。 高圧容器 : 熱すると破裂のおそれ。

10. 安定性及び反応性

反応性:	10.3参照
安定性:	推薦保存条件下で安定している
危険有害反応可能性:	高圧容器 : 熱すると破裂のおそれ。
避けるべき条件:	熱・高温のもの・火花・裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 日光から遮断し、50 °C以上の温度にばく露しないこと。



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15

バージョン: 16.0

次のバージョンを置き換えます: 15.0

言語: ja-JP

印刷日: 2023/1/2

頁: 5 の 8

混触危険物質:	酸、酸化剤
危険有害な分解生成物:	保管および取り扱い上の規則を遵守すれば、危険有害な分解生成物は生じない。
熱分解:	データなし

11. 有害性情報

毒性学的影響に対する情報

毒性影響:	情報は単一成分の特性から導き出されている。製品に対し利用できる毒性資料がない。 急性毒性 (経口): 入手可能なデータでは、分類基準を満たしていない 急性毒性 (経皮): 入手可能なデータでは、分類基準を満たしていない 急性毒性 (吸入): データなし。 皮膚腐食性 / 刺激性: 入手可能なデータでは、分類基準を満たしていない 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性: データなし。 呼吸器感作性: データなし。 皮膚感作性: 入手可能なデータでは、分類基準を満たしていない 生殖細胞変異原性/遺伝毒性: データなし。 発がん性: データなし。 生殖毒性: データなし。 授乳に対するまたは授乳を介した影響: データなし。 特定標的臓器毒性 (単回ばく露): データなし。 特定標的臓器毒性 (反復ばく露): データなし。 吸引性呼吸器有害性: データなし。
その他の情報:	適切な取扱い/使用での健康被害は報告されていない。

12. 環境影響情報

毒性

その他の詳細:	データなし
---------	-------

残留性及び分解性

その他の詳細:	生物学的分解性を決定するための方法は、無機物質には適用できない。
---------	----------------------------------

土壌中の移動性

データなし

生態学的追加情報

一般情報:	多い量: 地下/土壌に至らせてはならない。
-------	-----------------------

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

残余廃棄物

推奨:	廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。
-----	---------------------



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15

バージョン: 16.0

次のバージョンを置き換えます: 15.0

言語: ja-JP

印刷日: 2023/1/2

頁: 6 の 8

容器包装

推奨: 廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。
注意して、またできるだけ完全に空にすること。
汚れておらず、中身の残っていない包装容器は、再生利用に引き渡すことができる。

14. 輸送上の注意

国連番号

ADR/RID, IMDG, IATA-DGR: UN 1950

国連輸送名

ADR/RID: UN 1950, 圧縮ガスの容器
IMDG: UN 1950, AEROSOLS
IATA-DGR: UN 1950, AEROSOLS, NON-FLAMMABLE

輸送における危険有害性クラス

ADR/RID: 等級 2, コード: 5A
IMDG: Class 2.2, Subrisk -
IATA-DGR: Class 2.2



包装等級

ADR/RID, IATA-DGR: 該当しない
IMDG: -

環境に対する有害性

海洋汚染物質: いいえ

使用者向けの特別な予防処置

USA: Department of Transportation (DOT)

Identification number: UN1950
国連輸送名: UN 1950, 圧縮ガスの容器
Hazard class or Division: 2.2
Labels: 2.2
Packaging – Exceptions: 306
Packaging – Non-bulk: None
Packaging – Bulk: None
Quantity limitations – Passenger aircraft / rail: 75 kg
Quantity limitations – Cargo only: 150 kg
Vessel stowage – Location: A
Vessel stowage – Other: 25, 87, 126



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15

バージョン: 16.0

次のバージョンを置き換えます: 15.0

言語: ja-JP

印刷日: 2023/1/2

頁: 7 の 8

海上輸送 (IMDG)

国連番号:	UN 1950
国連輸送名:	UN 1950, AEROSOLS
Class or division, Subsidiary risk:	Class 2.2, Subrisk -
容器等級:	-
EmS:	F-D, S-U
特別規定:	63 190 277 327 344 381 959
制限量:	1000 mL
Excepted quantities:	E0
容器包装 - 使用説明書:	P207, LP200
容器包装 - 規則:	PP87, L2
IBC - 使用説明書:	-
IBC - 規則:	-
タンクの取扱説明書 - IMO:	-
タンクの取扱説明書 - UN:	-
タンクの取扱説明書 - 規則:	-
荷役作業及び取扱い:	SW1 SW22
隔離:	SG69
特性および知見:	-
海洋汚染物質:	いいえ
隔離すべき物質群:	none

航空輸送 (IATA)

UN/ID番号:	UN 1950
国連輸送名:	UN 1950, AEROSOLS, NON-FLAMMABLE
Class or division, Subsidiary risk:	Class 2.2
危険物ラベル:	Non-flamm. gas
除外数量のコード:	E0
旅客機および貨物機: 制限された量:	Pack.Instr. Y203 - Max. Net Qty/Pkg. 30 kg G
旅客機および貨物機:	Pack.Instr. 203 - Max. Net Qty/Pkg. 75 kg
貨物機のみ:	Pack.Instr. 203 - Max. Net Qty/Pkg. 150 kg
特別規定:	A98 A145 A167 A802
Emergency Response Guide-Code (ERG):	2L

15. 適用法令

国内規定 - 日本

データなし

その他の規定、制限及び法的要求事項

データなし

16. その他の情報

ラベル表示内容: 含有物 次亜塩素酸から放出される活性塩素: min. 0.07 g/kg。
殺生物剤は、安全に用いること。使用前には常に、表示や製品情報を読むこと。
目に向けて直接、噴霧しないこと。



製品安全データシート

JIS Z 7253:2019 準拠

GROHE BLUE XTRA-CLEAN

物質番号 40434001

改訂日: 2022/12/15
バージョン: 16.0
次のバージョンを置き換えます: 15.0
言語: ja-JP
印刷日: 2023/1/2

頁: 8 の 8

略語および略称:

ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
ADR: 鉄道による危険物の国際輸送に関する欧州協定
AGW: 職場の限界値
AS/NZS: オーストラリア規格/ニュージーランド規格
CAS: ケミカルアブストラクトサービス
CFR: 連邦規則集
CLP: 分類、表示、包装
DMEL: 導出最小毒性レベル
DNEL: 導出無影響レベル
EC: 欧州諸共同体
EN: 欧州規格
EQ: 例外的な数量
IATA: 国際航空運送協会
IATA-DGR: 国際航空運送協会 危険物規則
IBC Code: ばら積みで危険薬品を運送する船舶の建造及び艙装に関する国際規約
IMDG Code: 国際海上危険物規程
LEL: 爆発範囲の下限
MARPOL: 船舶による汚染防止のための国際条約
OSHA: 労働安全衛生管理
PBT: 難分解性、生体蓄積性、毒性物質
PNEC: 予測無影響濃度
RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則
TLV: 暴露限界
TRGS: 有害物質の技術規則
UN: 国際連合
v P v B: 非常に難分解及び非常に高蓄積性
WEL: 職場限界値
エアゾール: エアゾール

改訂履歴:

第1章の変更: アドレス
全般的な改訂

作成:

2014/4/30

SDS (安全データシート) 作成部署

情報提供担当部署:

項目 "1" を参照: 情報提供担当部署

本記載内容は、現時点で入手できる最高の知見に基づいて作成しており、改訂の時点まで反映されたものです。製品特性などに対して、法的な責任等を保証するものではありません。